

正智深谷高等学校特別コラム

# Mind Charging

Since 2020

第389回

田名網敬一

の名言

発行：入試広報室

発行日：令和6年6月6日

編集委員：入試広報室 鈴木



今回の言葉

実現したいイメージを  
100とすると、現時点で  
せいぜい10くらいのもの。

田名網 敬一は、日本のアーティスト、グラフィックデザイナー、イラストレーター、映像作家。

## Column

スポーツの指導をしている私にとって、目標といえば当然ですが県大会や関東大会、そして全国大会といった競技レベルの高い大会への進出や、その大会での勝利になりますから競技力の向上なしでは実現不可能なものにはなりません。しかし、私は指導の中で競技力の向上だけを求めているわけではなく、仲間との信頼関係の構築や目標達成に向けた自分自身の“覚悟”ということを大切にしています。なぜなら競技力の向上には心の充実が大前提だからです。目標達成のために努力を続ける中で気分が乗らないこともあります。そんな時に仲間の頑張りを感じられることや頑張ると決めた時の自分の気持ちを思い出して頑張る強さを身につけることが目標達成への近道だと信じています。私はよく家に例えて話をしますが、しっかりした基礎や強い柱があってこそ素敵な家が素敵のまま長持ちするのだと思います。こういった考え方はスポーツに限ったことではなく、心の充実は人生におけるすべての取り組みに対して必要なことであり、家で言うところの基礎や柱です。よく『〇〇を通じて』というコメントがありますが、〇〇通じて何を得的のか、何を学ぶのか、どう取り組むのかを決めるのは“心”です。そういう意味で私は『この競技はあくまでツールのひとつ。その先にあるもの、この競技に取り組むうえで自分の心の中にあるものが未来の自分を創る』と伝えています。

今回の言葉は田名網さんが80歳の時のものだそうです。さすが国際的に評価を得ている日本人アーティストですね。アートに対しての飽くなき探求心、アーティストとしての情熱を感じます。現在87歳ということですが、この言葉から7年経った今でもきっとこの気持ちは衰えるどころかさらに盛り上がっていて、それは自分や仲間の心によって育てられているのだと思います。そんな日々の中で活動しているということは、実現したいイメージの中の10を超える作品を手掛け、今まで以上に田名網さんの作品のファンを魅了しているはずですが100%納得のいく作品には仕上がっていないのでしょう。もしかしたら自分の100%がわからないのかもしれませんが、それだけすべてのことに深さがあり、人生にゴールというものはないのでしょう。みなさんも思い悩むことが多い時期ではあると思いますが、何度でも自分の心や仲間たちを大切にしながら少しでも理想の自分、理想の人生に近づいていけるよう粘り強く進んでいきましょう！